



## 臨床研究に関する研究対象者への情報開示願

令和 5 年 5 月 8 日

日本歯科大学附属病院

病院長 殿

この度、下記研究につきまして生命歯学部倫理審査委員会による審査の結果、承認の通知（承認番号 22-54）を受けましたので、審査結果通知書、倫理申請書の写しと共に提出いたします。本研究実施について附属病院内に周知していただきたく存じます。

なお、次ページに当該研究に関する附属病院内における情報開示のための研究概要を記します。

研究課題名：VTS がエックス線画像の診断と解釈に与える効果の検討

研究責任者（代表者）

所属・氏名：歯科放射線学講座・永浦まどか

承認番号： 22-54

研究課題名： VTS がエックス線画像の診断と解釈に与える効果の検討

研究責任者（所属・職位・氏名）： 歯科放射線学講座・助教・永浦まどか

分担研究者（所属・職位・氏名）： 歯科放射線学講座・教授・河合泰輔

放射線・病理診断科・准教授・岩田洋

歯学教育支援センター・講師・石黒一美

## 1. 研究概要

### 1) 研究の意義：

絵画鑑賞を取り入れることによるエックス線画像の診断と解釈に与える効果の検討を行う。

### 2) 研究の目的：

画像診断をする上で、必要なスキルには知覚能力と解釈能力の両方が含まれる。解釈能力は学習と知識の向上により時間とともに発達するが、知覚能力の向上はなかなか困難であり、画像診断の解釈におけるエラーの70%以上は、視覚的エラーが関連していることが明らかにされている。特に、学生は画像を見る機会が少ないため、構造物に対する知覚能力不足であると考えられる。そのため、知覚のトレーニングが必要である。

Visual Thinking Strategies (VTS) は、アートを通じて学習者の「観察力」「批判的思考力」「コミュニケーション力」を育成する教育カリキュラムである。VTS の価値については、国内外の医学分野で発表されており、視覚的な合図を正確かつ論理的に解釈することで、身体的な診断に役立つことが明らかにされている。特に、放射線医学では、VTSにより、画像所見を説明するための語彙や臨床的に関連する観察の数が増加することが示されている。しかし、歯科分野においては、VTSを用いた教育効果について報告している論文はない。

そこで、本研究では、本学5年生を対象に、VTS手法を取り入れることでどれだけ画像の知覚能力、画像解釈や分析能力につながられるかを検討することを目的とする。

## 2. 研究方法

### 1) 研究対象者：

生命歯学部5年生

### 2) 研究期間：2023年4月13日から2025年3月31日まで

### 3) 方法：

#### 1. パノラマエックス線画像の選出

附属病院放射線・病理診断科にて、過去の画像から異常像を評価するのに難易度が低めのパノラマエックス線画像（唾石、過剰埋伏歯、下顎頭変形、上顎洞粘液貯留嚢胞、茎状突起過長症など）を約200枚選出する。

用いる試料：2015年1月～2025年3月に当院でパノラマエックス線画像を撮影した、もしくは撮影する予定の患者

#### 2. 研究の流れ

①プレテスト（異常部位の特定：10問、所見の記載：1問）

② 絵画鑑賞（著作権がない絵画）

③ ポストテスト（異常部位の特定：10問、所見の記載：1問）

4) 使用する試料・情報の項目：

パノラマエックス線画像（個人を特定できない）

5) 情報の管理方法と保護：

画像情報に関しては、患者 ID と氏名を数値化し、対応表（Excel ファイル）を作成する。学生が観察するパノラマエックス線画像は DICOM のタグ情報を破棄し、汎用形式で出力する為、氏名、ID による個人の特定ができない。画像はハードディスク内にデータを保管する。

本検討は患者への侵襲や介入もなく、病院ホームページにて研究情報を開示し、オプトアウトの対応を行う。患者から不同意の申し出があった場合は画像を中止する。

データの管理は、主任研究者である永浦が責任者として行い、対応表と画像情報が入っているハードディスクは附属病院 B1 画像読影室内に、5 年生の答案内容は生命歯学部 3F 歯科放射線学講座内に、それぞれ鍵付きキャビネット内に保管する。データ破棄に関しては、論文投稿後 5 年を目処にシュレッダーにて破棄する。

### 3. 研究に関する本学の問い合わせ・連絡先

研究責任者

氏名：永浦まどか

連絡先：日本歯科大学生命歯学部 歯科放射線学講座

東京都千代田区富士見 1-9-20 (03-3261-6516)